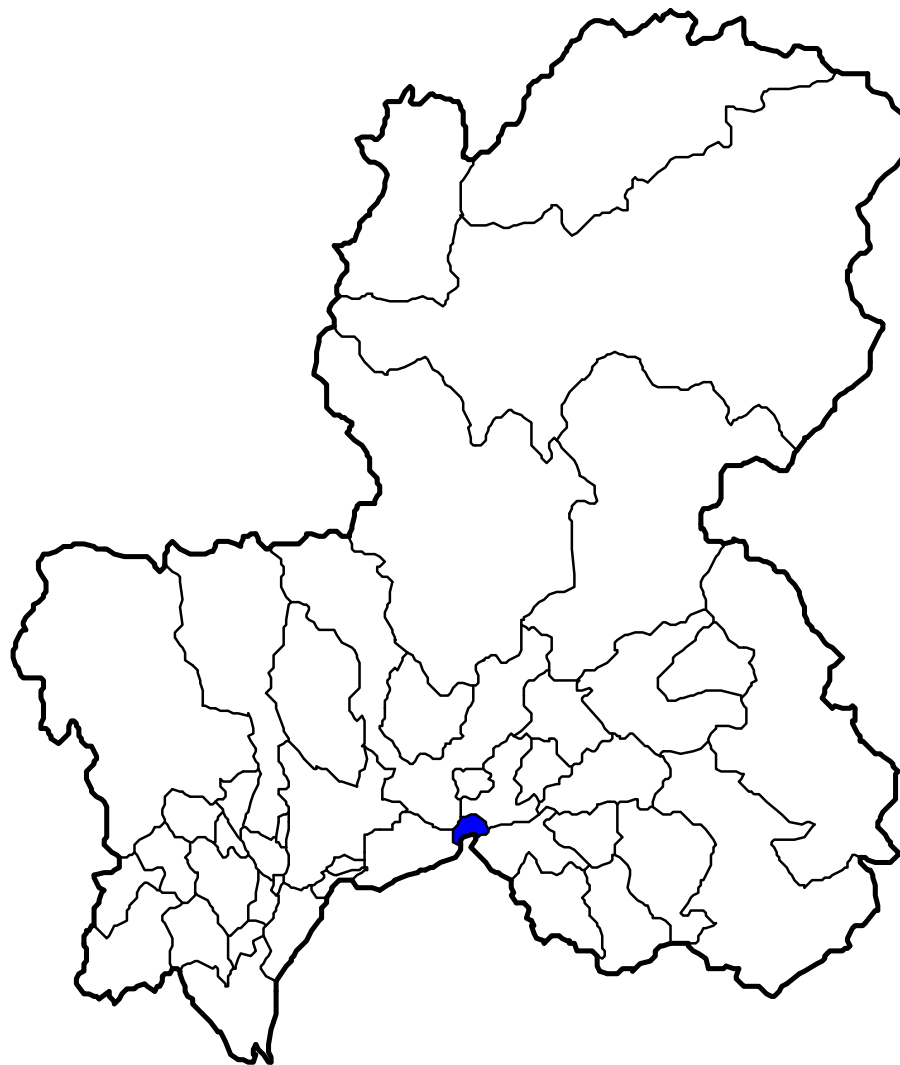


統計からみた 坂祝町 の現状

総面積km ²	割合%	順位
12.87	0.12	39

※割合：県全体に占める割合



岐阜県 統計課
2025年10月更新

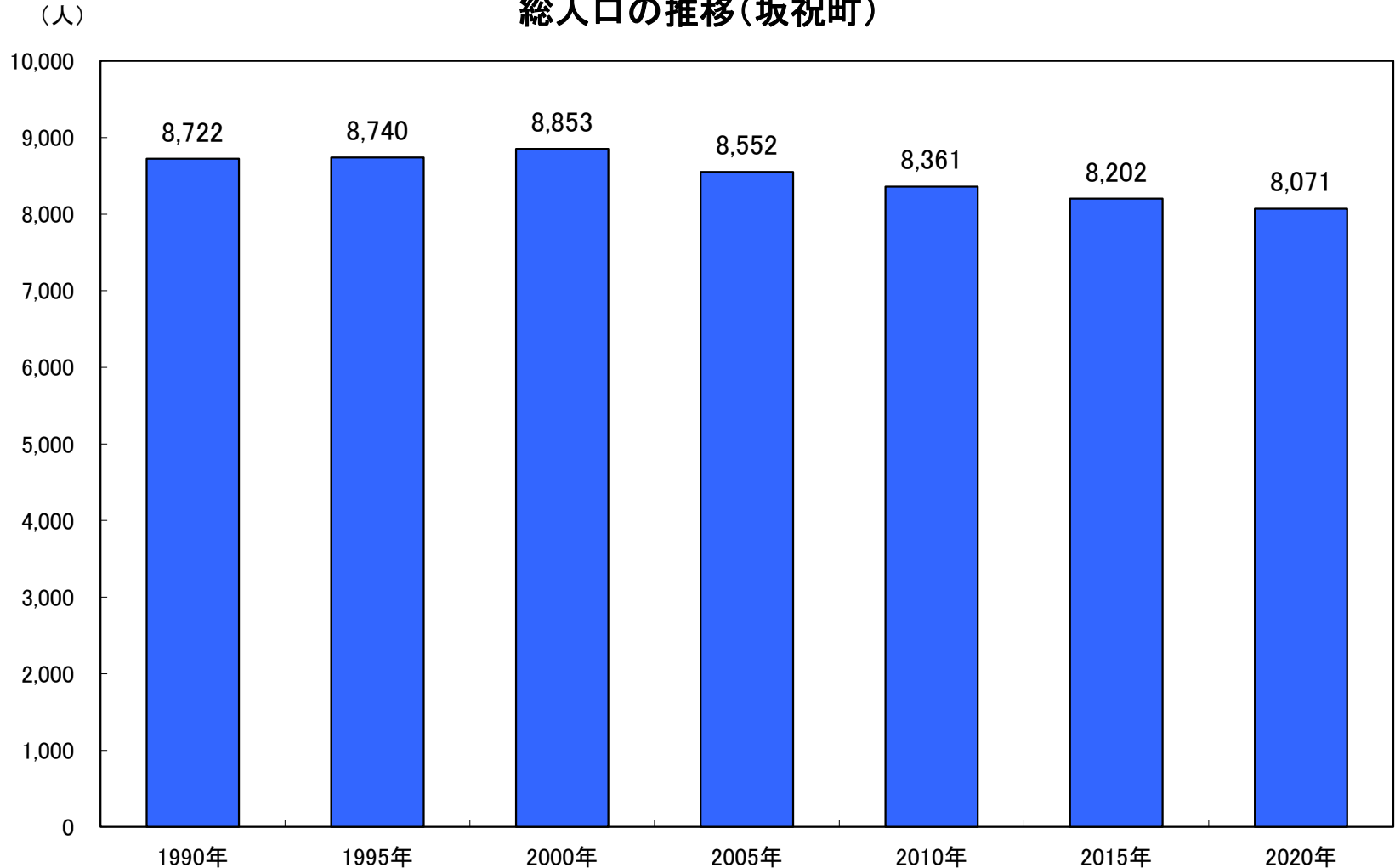
坂祝町の人口は2005年頃から減少している

2010年：8,361人 → 2015年：8,202人 (△159人)

2015年：8,202人 → 2020年：8,071人 (△131人)

人口順位：県内36位 県人口に占める割合：0.4% (1990年) → 0.4% (2020年)

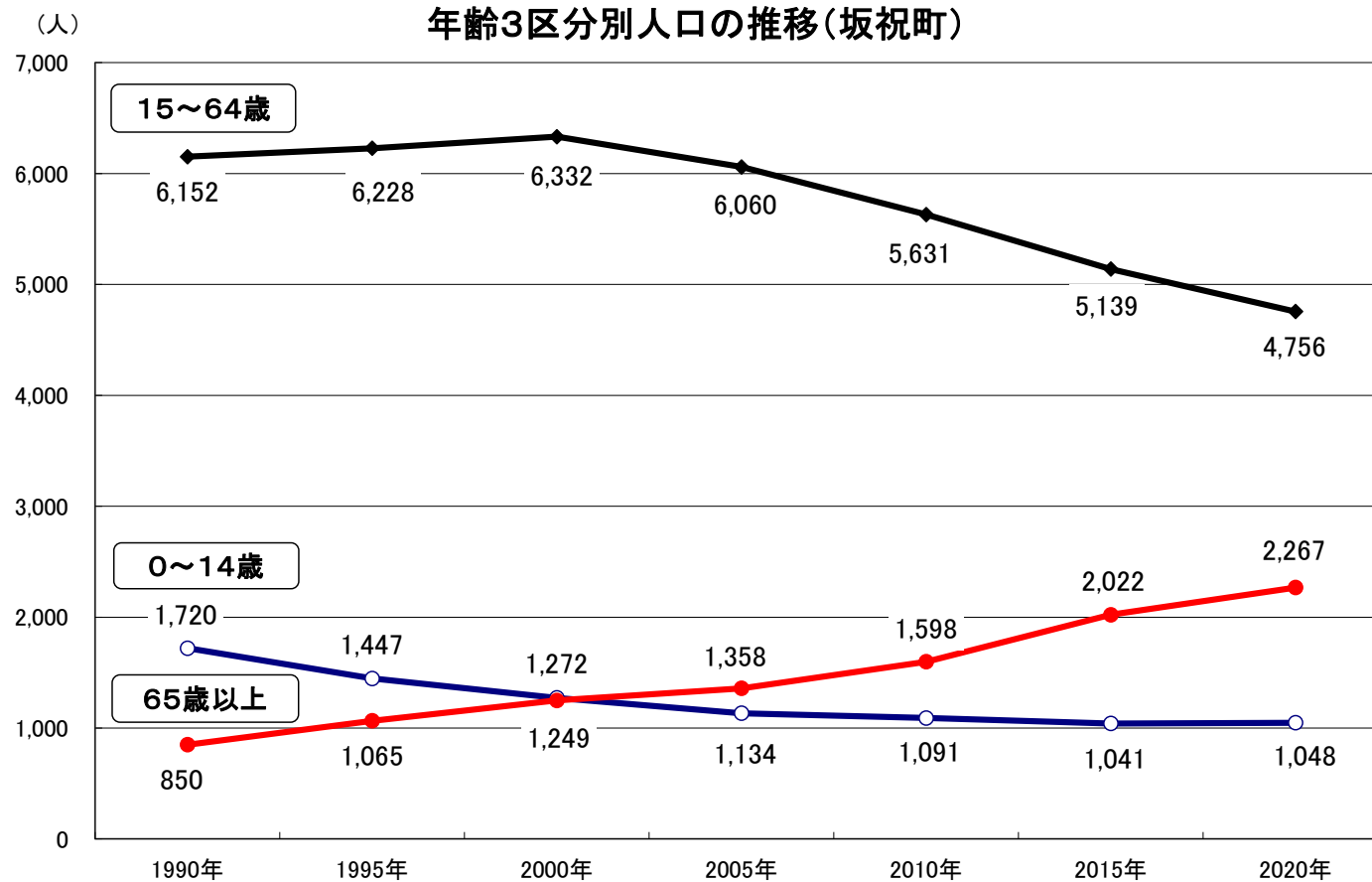
総人口の推移(坂祝町)



0～14歳人口が減少する一方、65歳以上の高齢者は増加 15～64歳人口は2005年頃から減少が続く

人口の 増減数	2010→ 2015年	2015→ 2020年
0～14歳	△ 50	7
15～64歳	△ 492	△ 383
65歳以上	424	245

	年齢3区分別人口の割合（2020年）		
	坂祝町	岐阜県	県内順位
0～14歳	13.0%	12.3%	10位
15～64歳	58.9%	57.3%	10位
65歳以上	28.1%	30.4%	34位

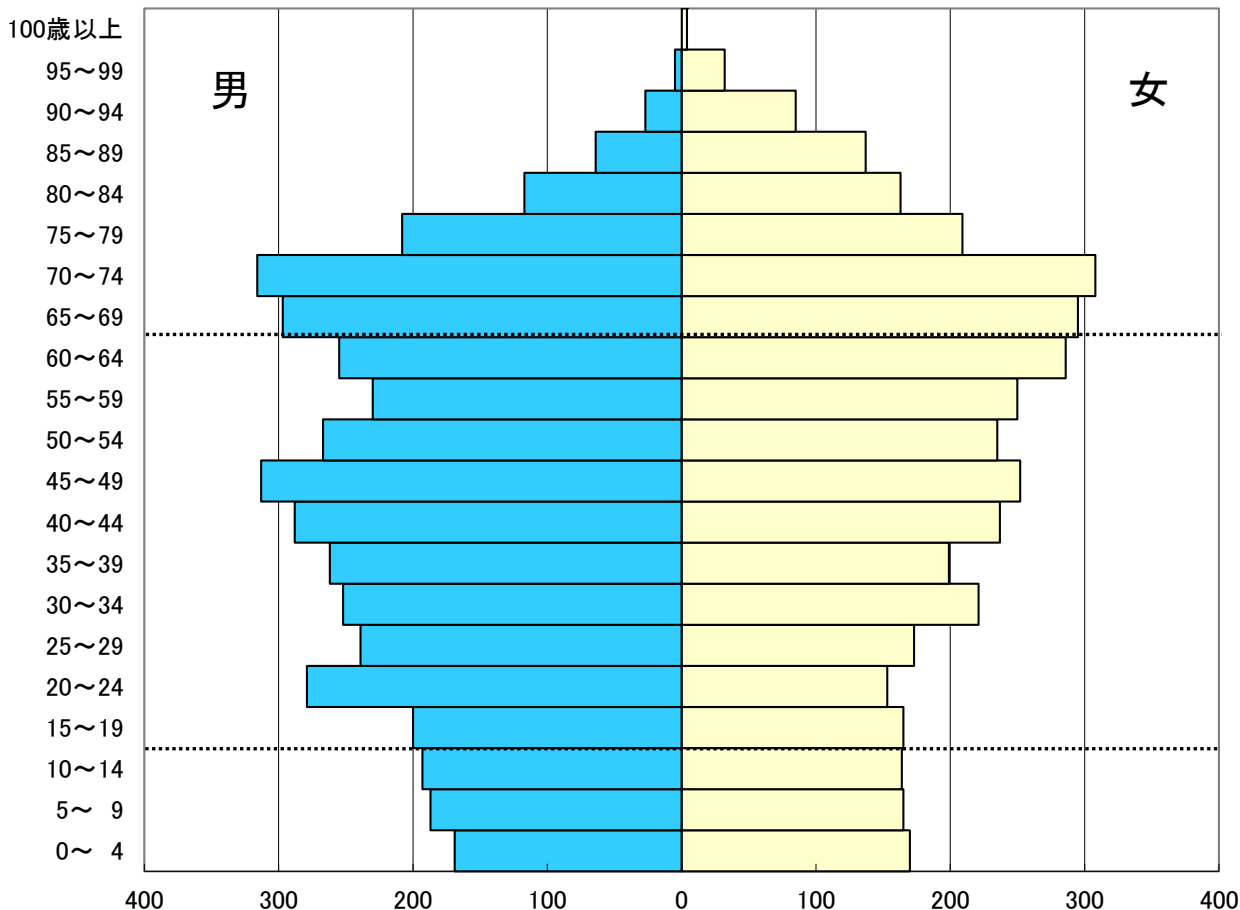


60～70代前半の人口が多い 男性の人口が多いことも特徴

厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者は増加するとみられる。

人口に占める65歳以上人口の割合 1990年：9.7%（37位） → 2020年：28.1%（34位）

2020年人口ピラミッド（坂祝町）



	人口(人)	構成比(%)
総人口	8,071	100.0
0～14歳	1,048	13.0
15～64歳	4,756	58.9
65歳以上	2,267	28.1

＜岐阜県全体の人口構成＞

- ・0～14歳：12.3%
- ・15～64歳：57.3%
- ・65歳以上：30.4%

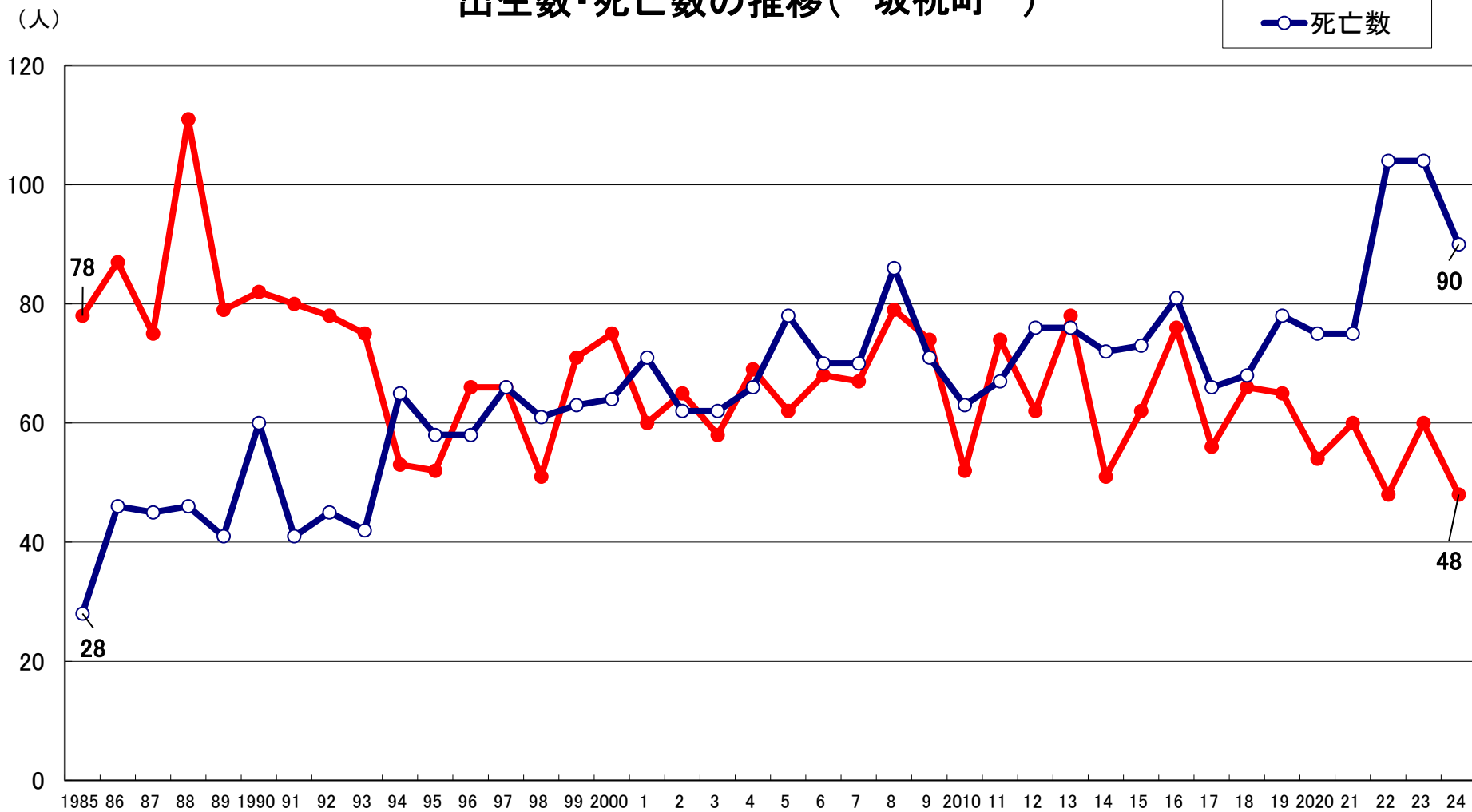
＜構成比の県内順位＞

- ・0～14歳人口：10位
 - ・15～64歳人口：10位
 - ・65歳以上人口：34位
- ※数値の大きい順

1995年頃から、出生数と死亡数はほぼ同数で推移 2014年以降は、死亡数が出生数を上回る自然減少が続く

2024年の自然動態：出生数48人 死亡数90人 42人の自然減少

出生数・死亡数の推移（坂祝町）



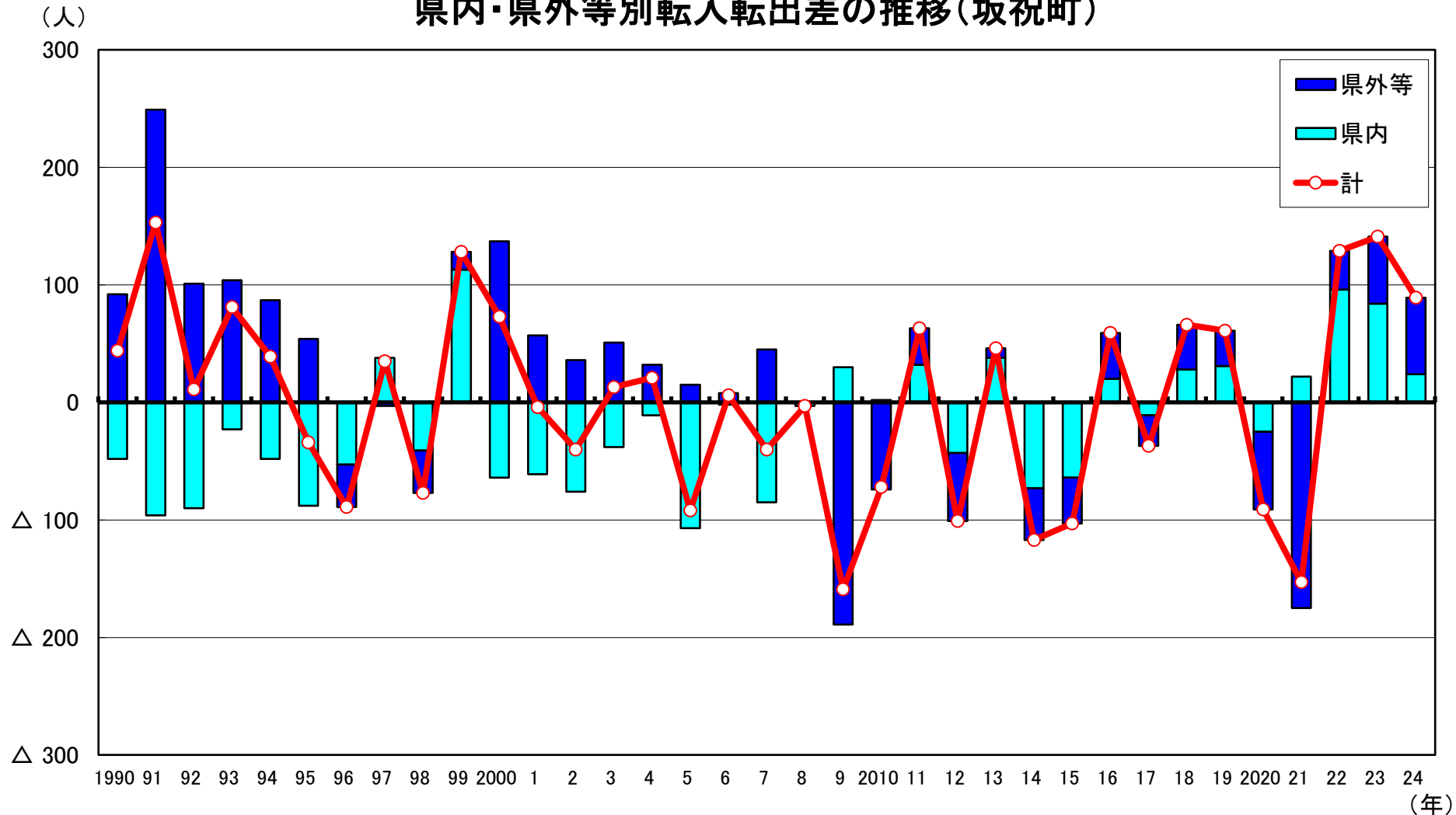
出典：厚生労働省「人口動態統計」（日本人 1～12月の年計）

(年)

転入超過と転出超過の年がある

2024年の社会動態：転入493人 転出404人 89人の転入超過

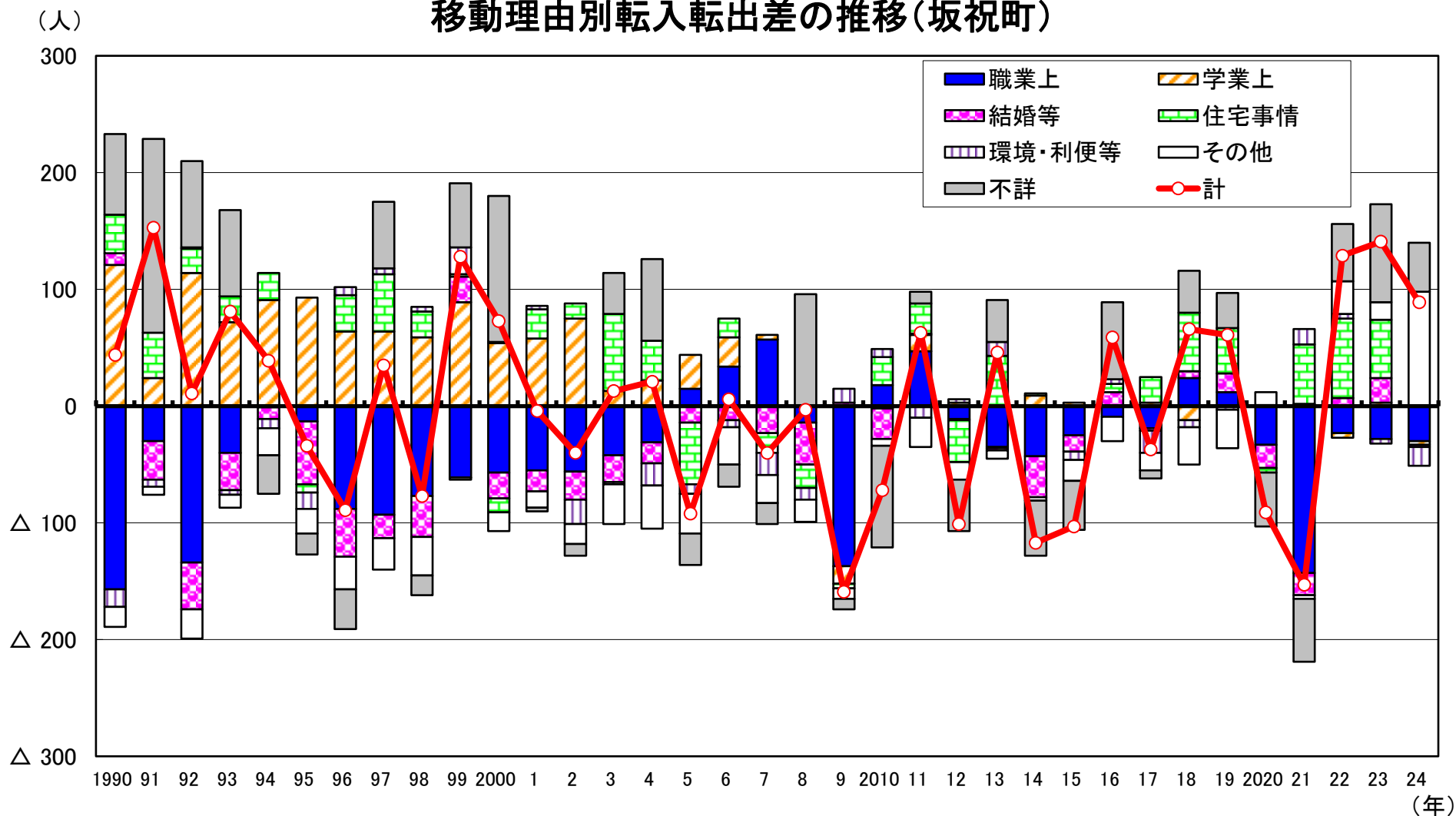
県内・県外等別転入転出差の推移(坂祝町)



出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」 ※計、県外等には職権記載等を含む。 ※転入転出数は前年10月1日～同年9月30日の合計

近年は住宅事情を理由とした転入超過が見られる

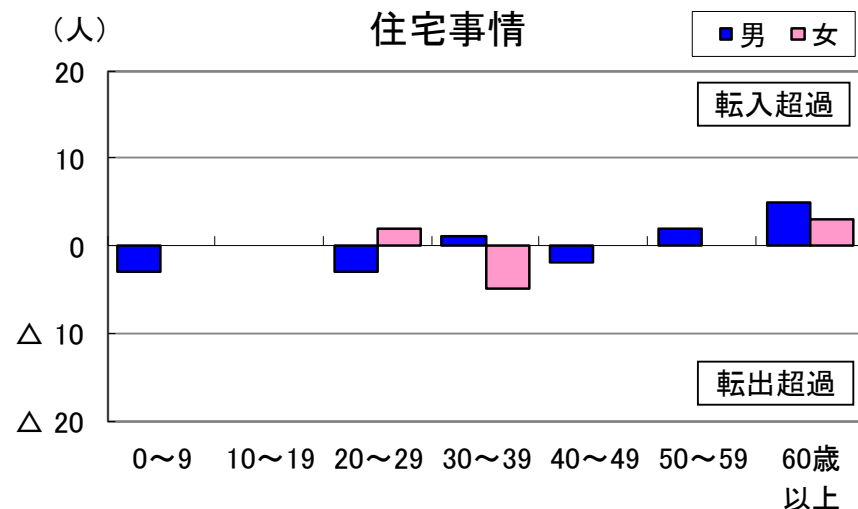
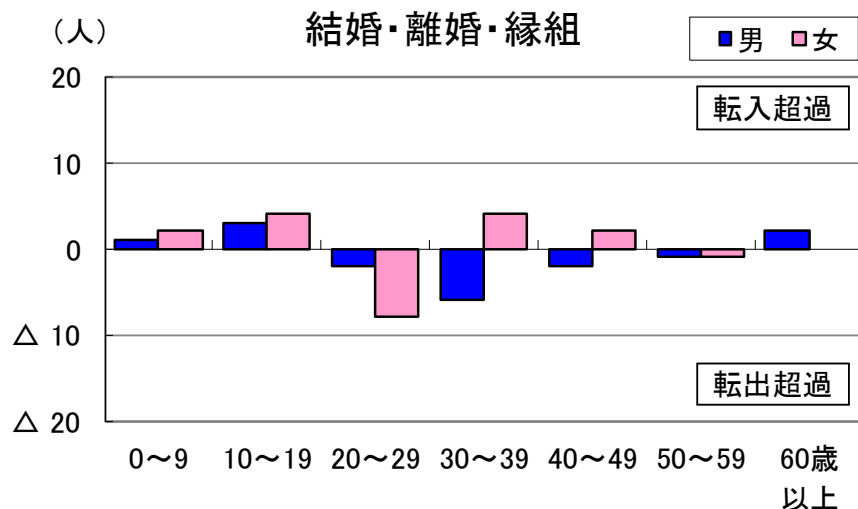
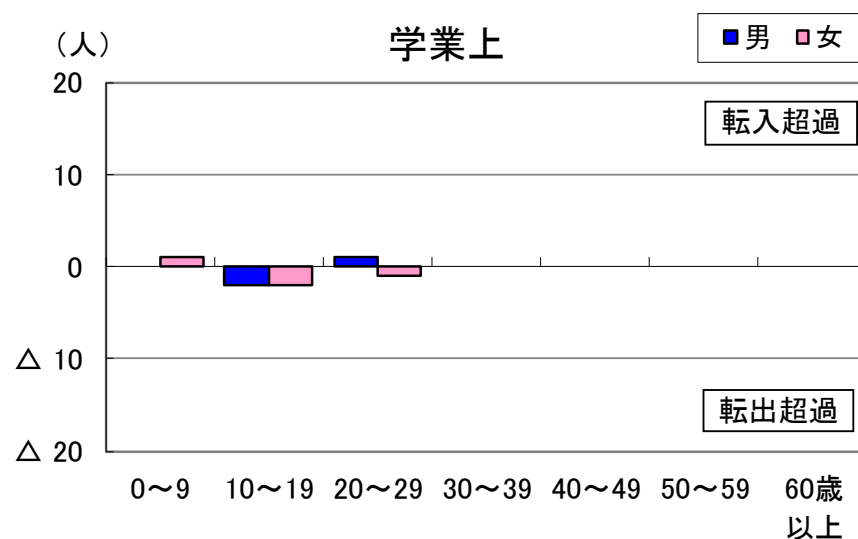
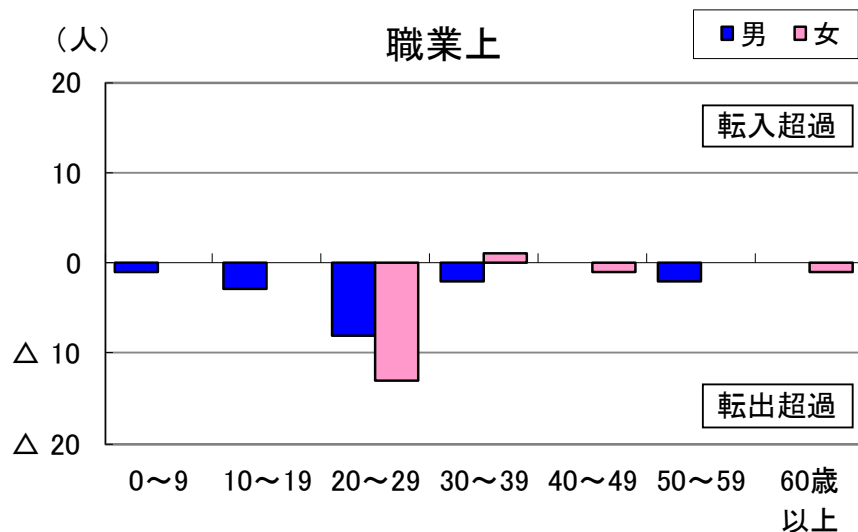
移動理由別転入転出差の推移(坂祝町)



出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」(不詳＝外国人＋職権、環境・利便等＝生活環境の利便＋自然環境＋交通の利便)

職業上、結婚等を理由とした20代の転出超過が多い

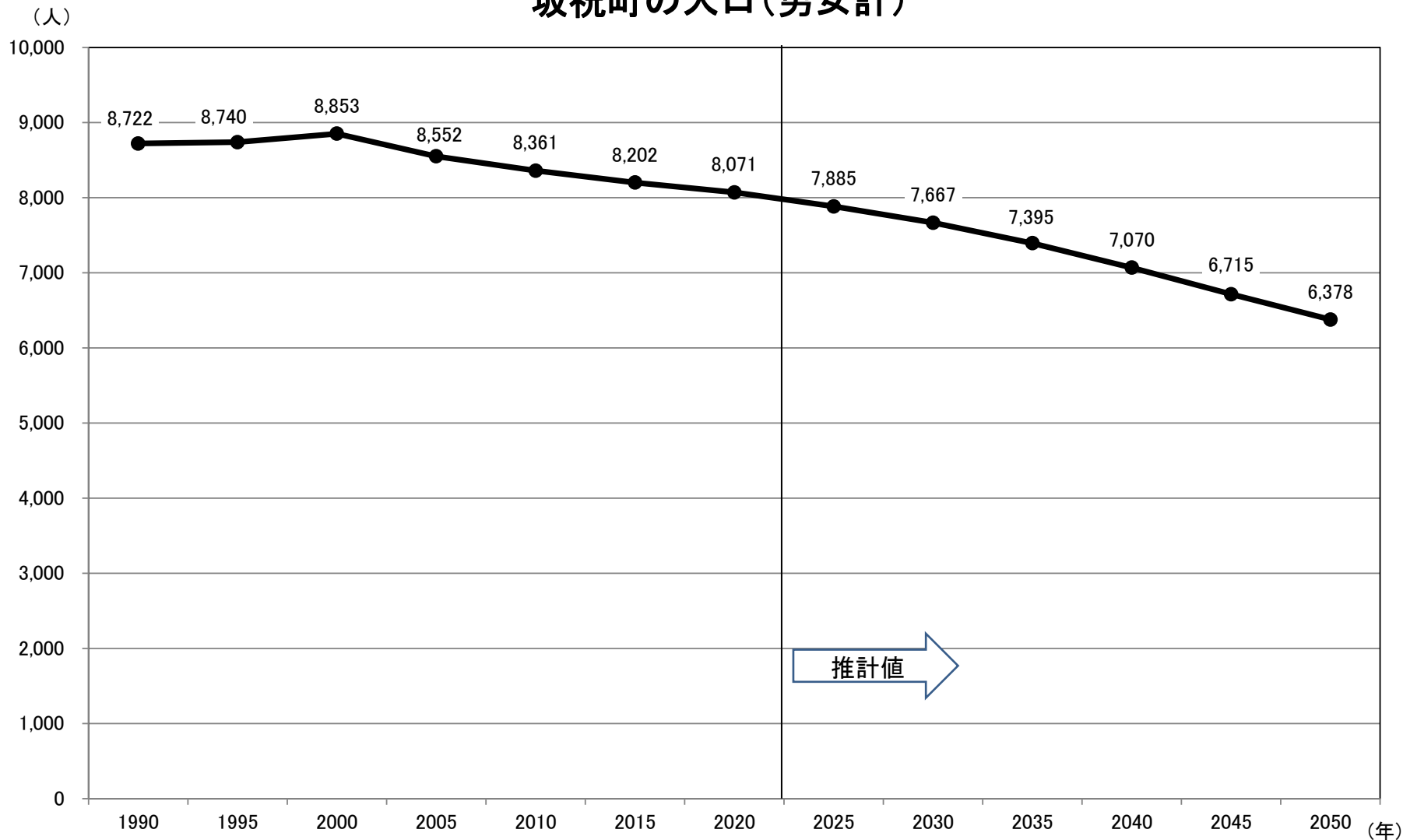
主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(坂祝町 2024年)



参考：将来の人口の見通し（総人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

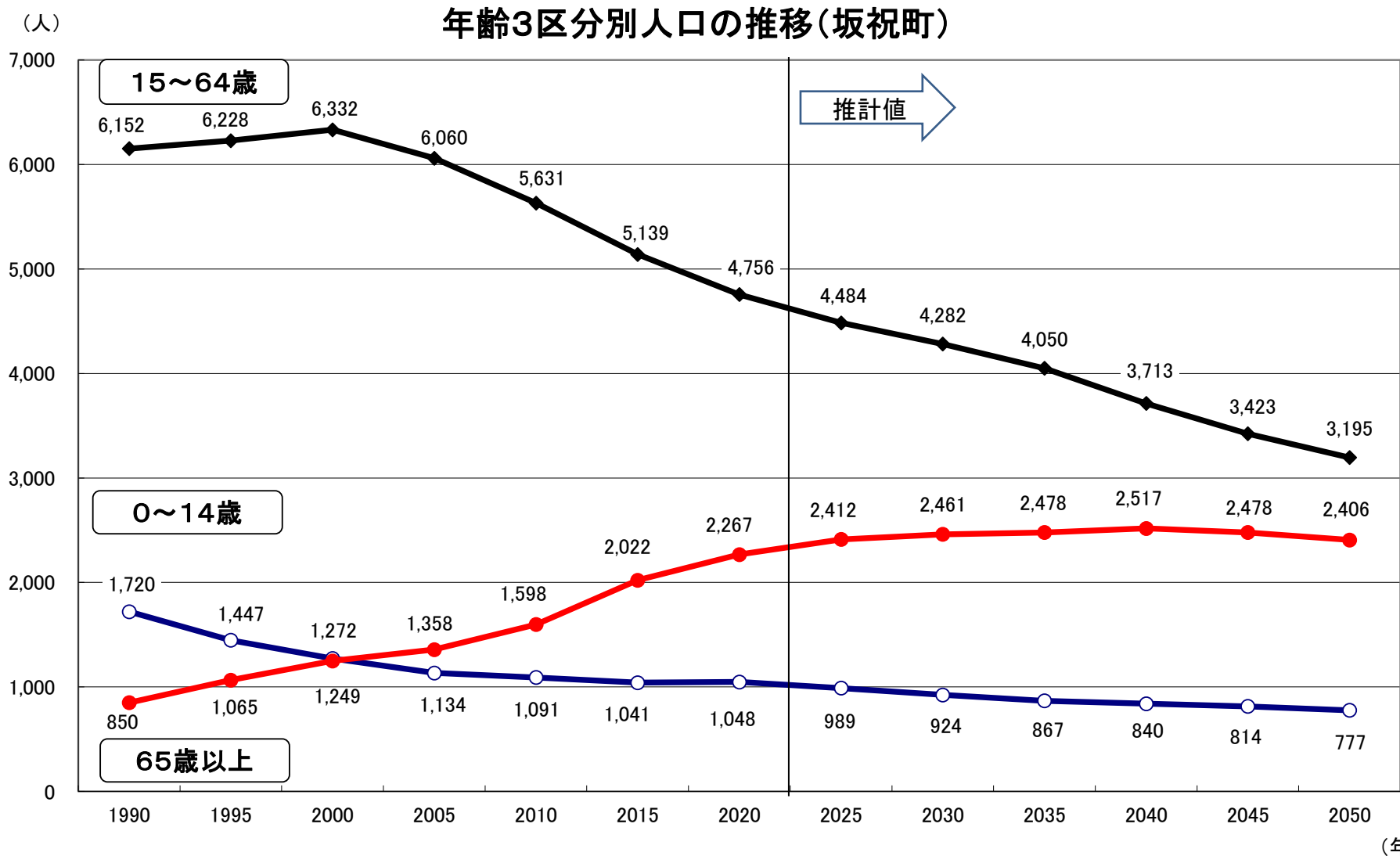
坂祝町の人口(男女計)



出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

参考：将来の人口の見通し（年齢3区分別人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」



出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

注：2015年、2020年の年齢3区分別人口は、不詳補完値。

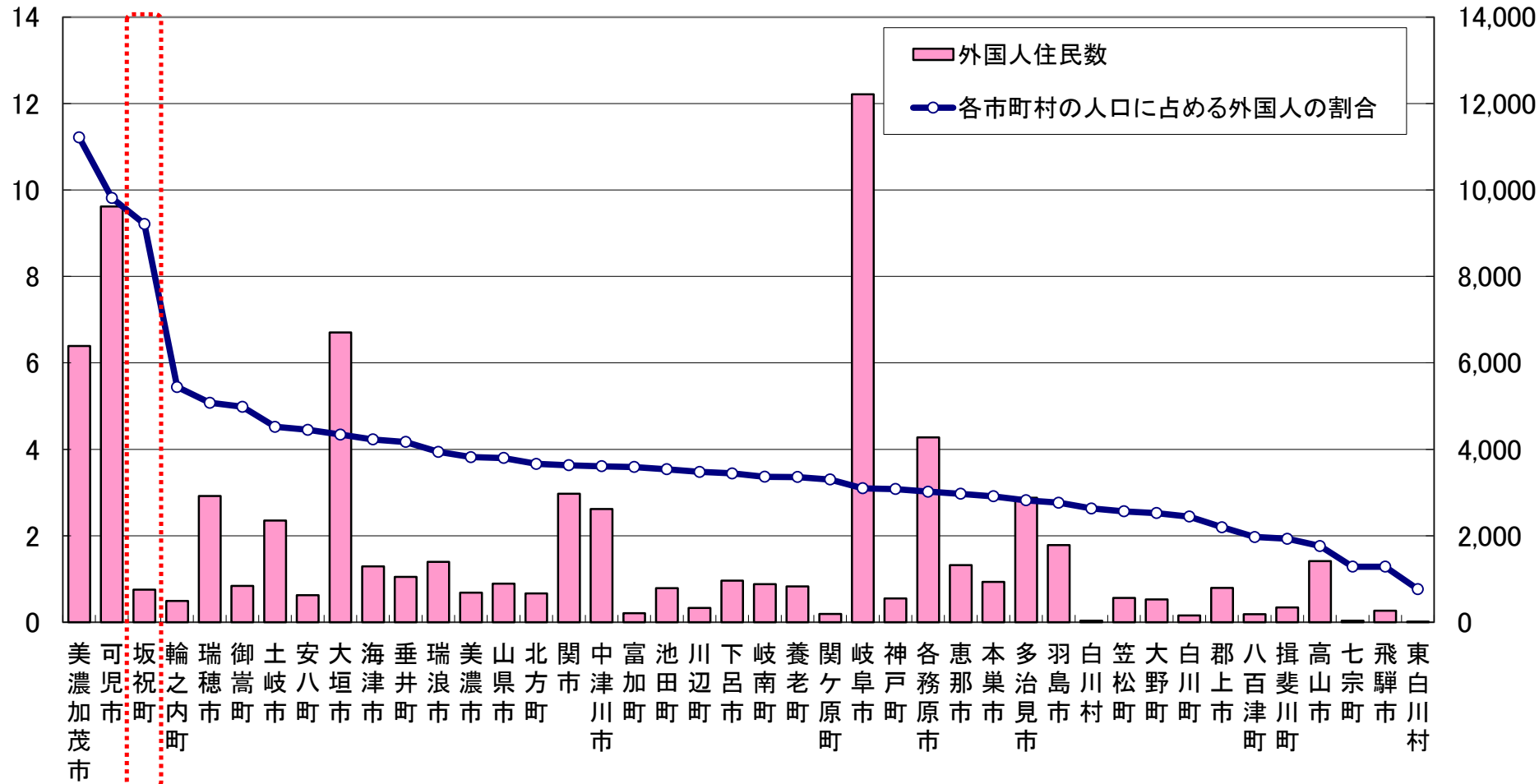
人口に占める外国人の割合は9.2%（県内3位）

岐阜県の外国人住民数74,750人のうち、坂祝町の外国人住民数（751人）は1.0%を占める

外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2024年12月末現在）

外国人住民数
（人）

割合
（%）



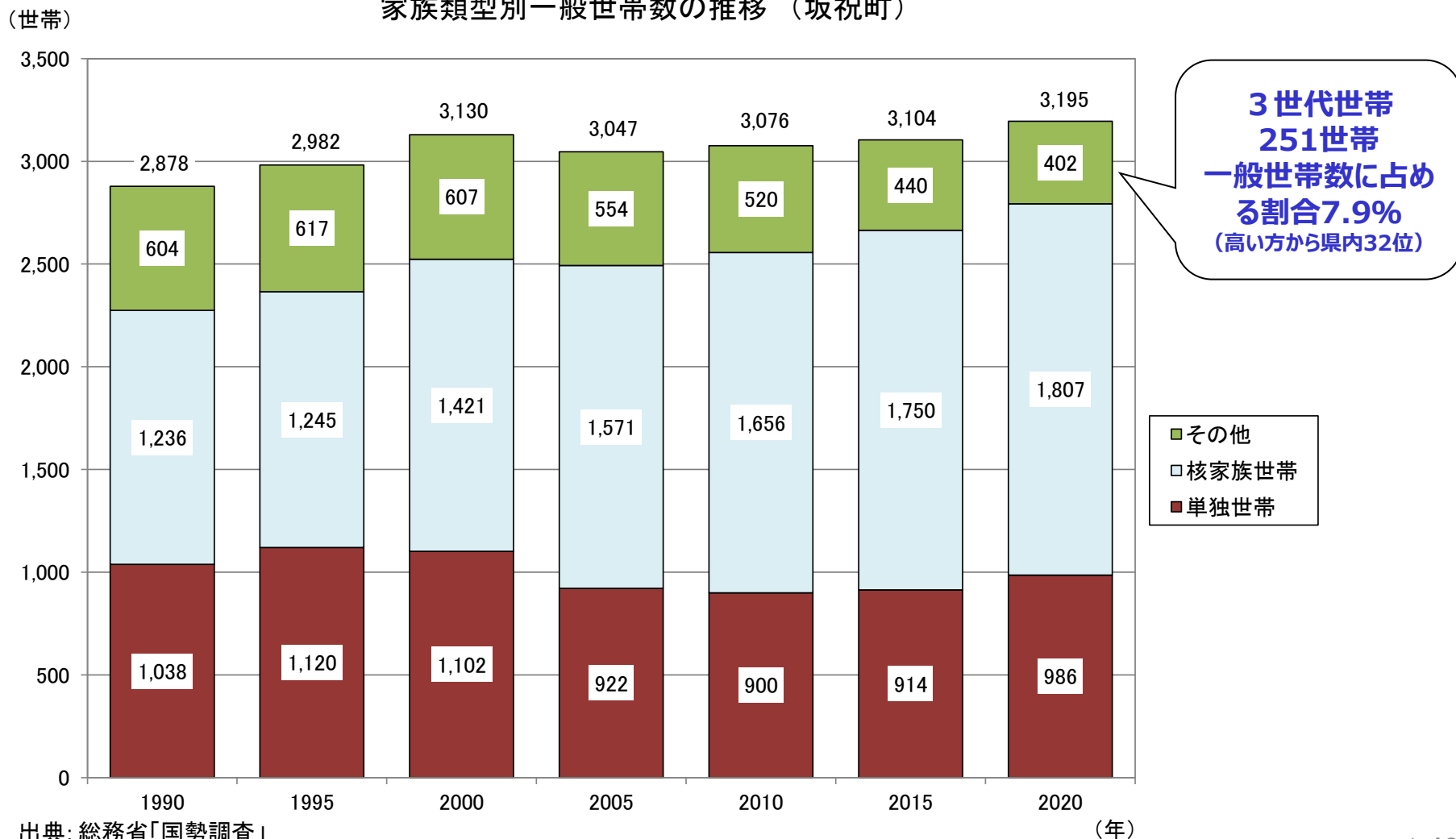
出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2024年12月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2025年1月1日現在）により算出。

一般世帯数は近年ほぼ横ばいで推移しているが、 1世帯当たり人員は減少。単独世帯はほぼ横ばいで推移

単独世帯は1990年以降の30年間で約1.0倍に。

1世帯当たり人員数：2.65人（2010年）→2.47人（2020年 県内36位）

家族類型別一般世帯数の推移（坂祝町）

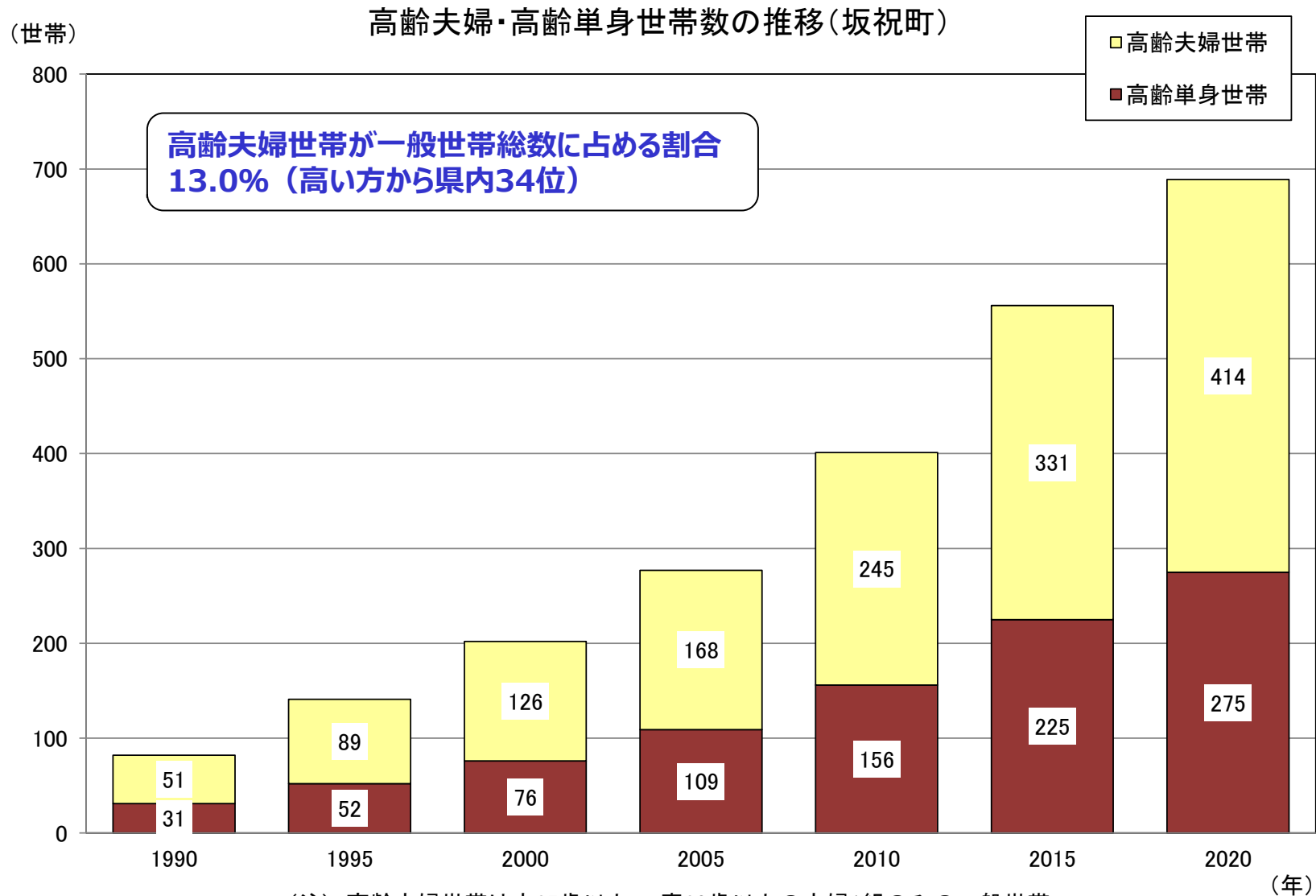


出典：総務省「国勢調査」

注：一般世帯は、病院、社会福祉施設などで生活する人を除いたもの。

高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加

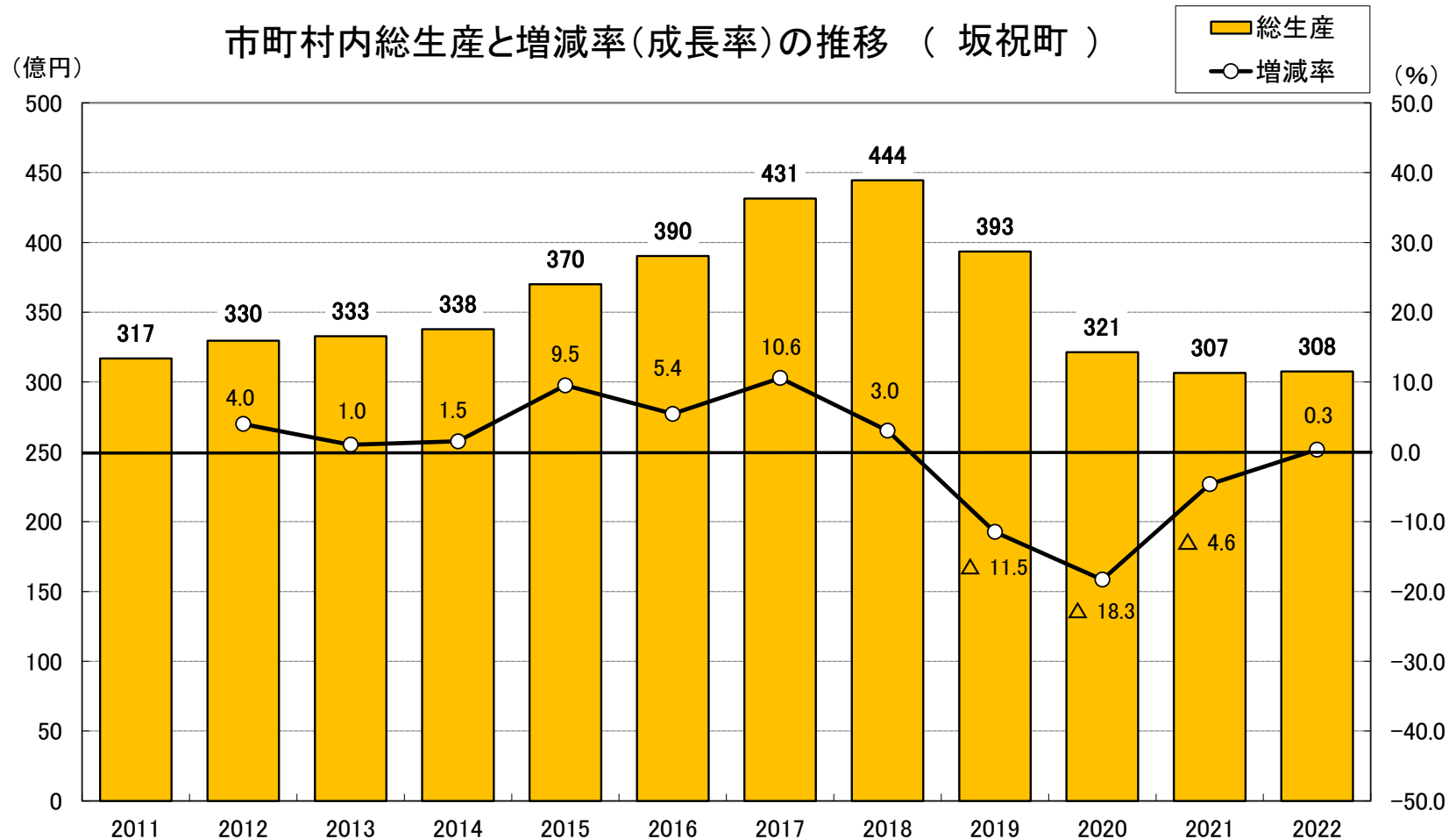
1990年以降の30年間で高齢夫婦世帯は8.1倍、高齢単身世帯は8.9倍に増加。



坂祝町の総生産は308億円 1人当たり市町村民所得は308万8千円

総生産は県（名目8兆2252億円）の0.4%、県内38位
1人当たり市町村民所得は県（319万2千円）の96.8%、県内23位

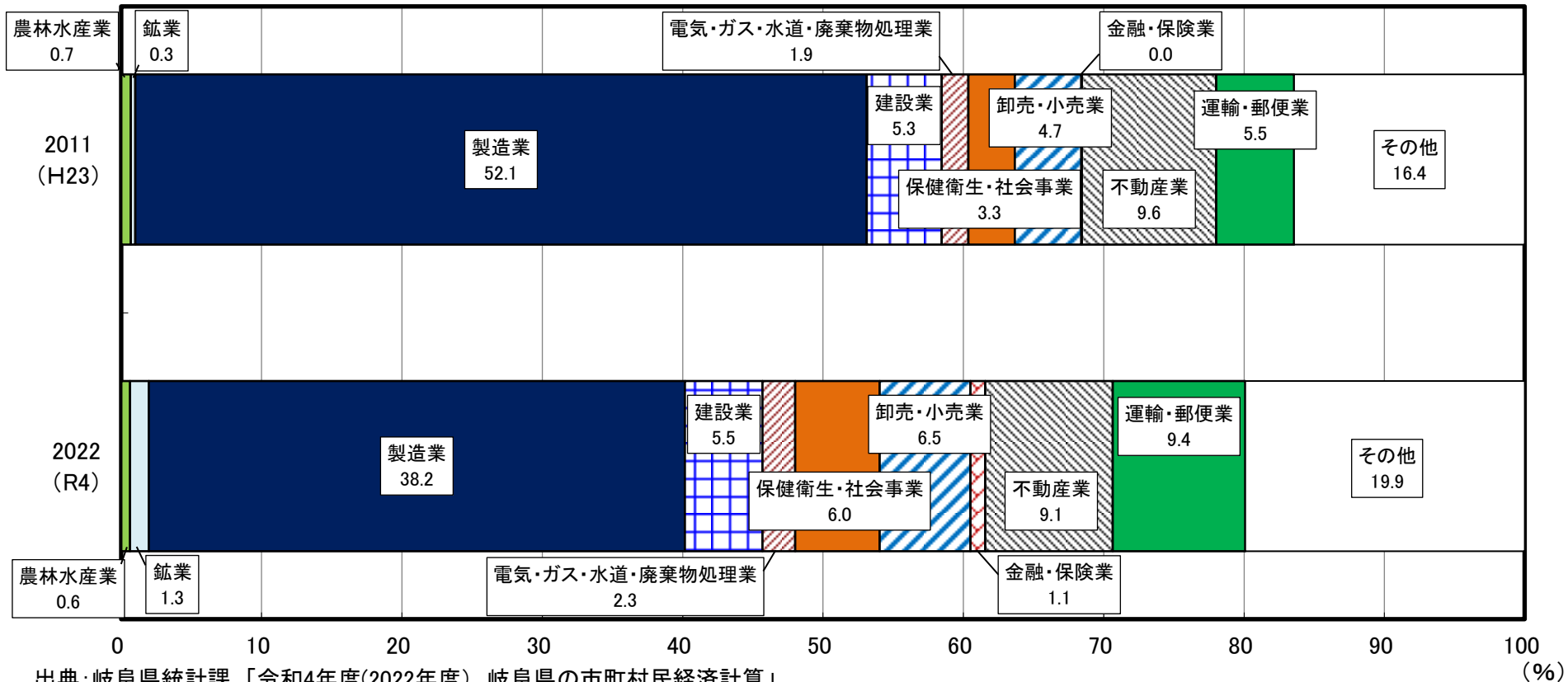
※ 1人当たり所得には企業所得等を含み、市町村全体の経済水準を示すもの



第2次産業が45%、第3次産業が54%を占める産業構造

製造業、運輸・郵便業の割合が高い

市町村内総生産の経済活動別構成比 （坂祝町）



出典：岐阜県統計課「令和4年度(2022年度)岐阜県の市町村民経済計算」

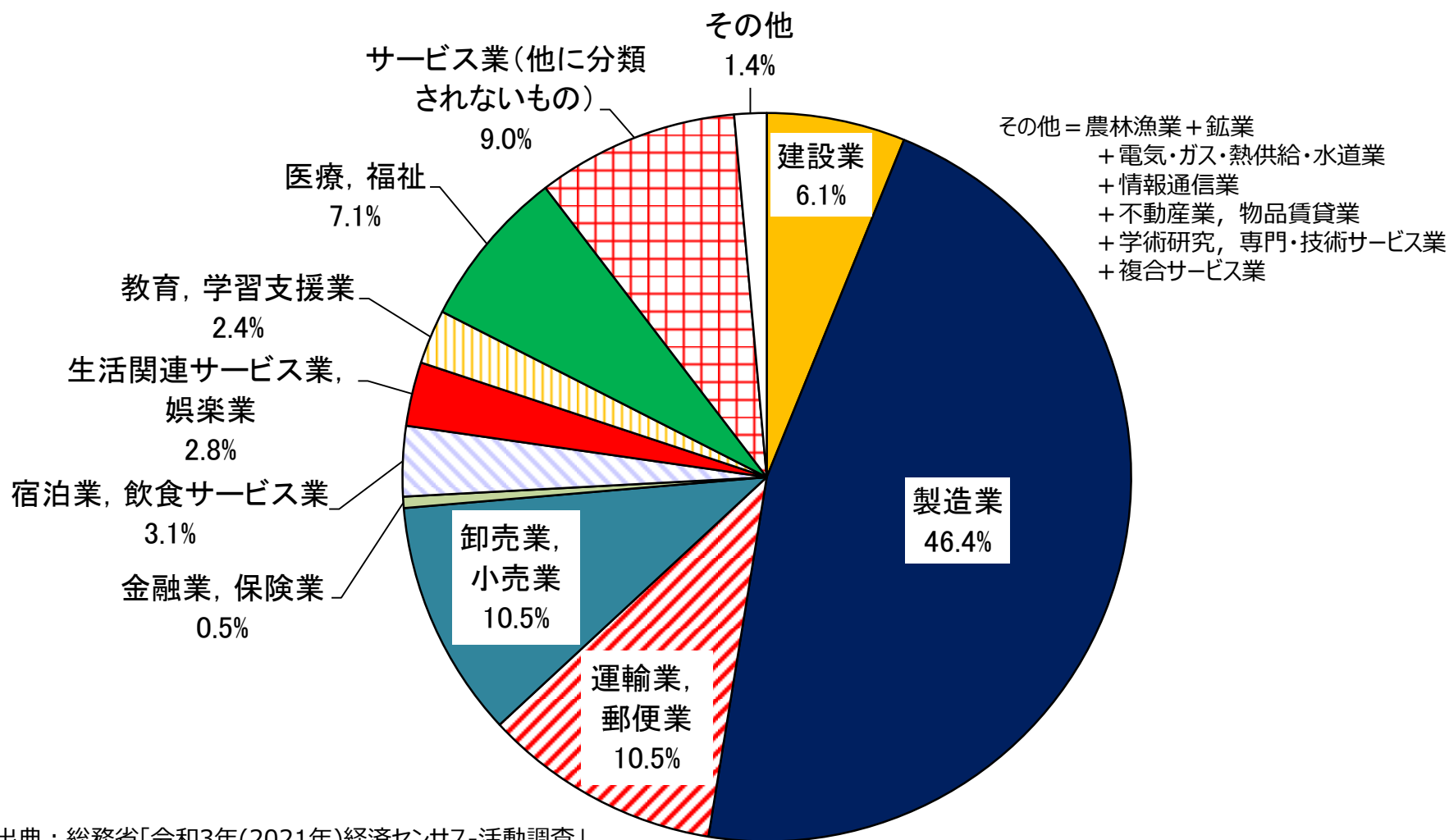
注1：「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。

注2：「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。

なお、輸入品に課される税・関税等も含めている。

産業別の従業者数は、製造業が46.4%と最も多く、 次いで運輸業,郵便業、卸売業,小売業が10.5%を占める

産業別従業員数の構成比(坂祝町 2021年)



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注：事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

産業別従業者でみると、全国と比べて、 鉱業、製造業の特化係数が高いことが特徴

産業別事業所数、従業者数（坂祝町 2021年）

	事業所数	従業者数		産業別従業者数の 構成比による特化係数	
		(人)	構成比	全国=1.00	県=1.00
総数	237	3,984	100.0	1.00	1.00
農林漁業	2	14	0.4	0.45	0.33
鉱業	2	14	0.4	10.34	5.26
建設業	23	245	6.1	0.95	0.90
製造業	49	1,849	46.4	3.05	1.87
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0.0	0.00	0.00
情報通信業	0	0	0.0	0.00	0.00
運輸業, 郵便業	15	420	10.5	1.87	2.33
卸売業, 小売業	48	420	10.5	0.53	0.55
金融業, 保険業	4	20	0.5	0.19	0.22
不動産業, 物品賃貸業	6	10	0.3	0.09	0.14
学術研究, 専門・技術サービス業	5	16	0.4	0.11	0.18
宿泊業, 飲食サービス業	24	124	3.1	0.39	0.38
生活関連サービス業, 娯楽業	18	113	2.8	0.76	0.71
教育, 学習支援業	9	96	2.4	0.72	0.90
医療, 福祉	17	283	7.1	0.50	0.54
複合サービス事業	1	3	0.1	0.10	0.08
サービス業(他に分類されないもの)	14	357	9.0	0.99	1.25

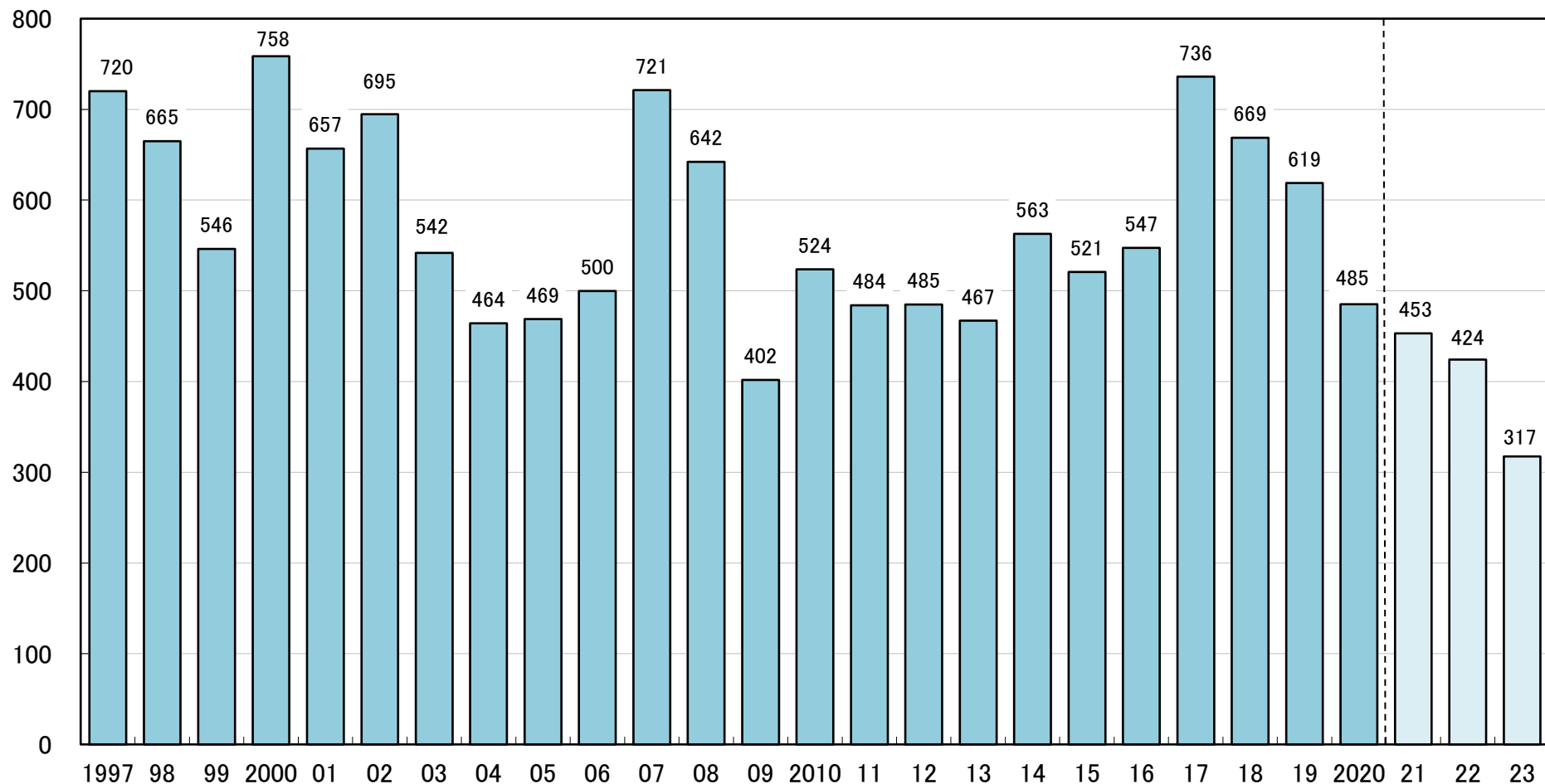
出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」

注) 事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

2023年の製造品出荷額等は、317億円

製造業製造品出荷額等の推移（坂祝町）

（億円）



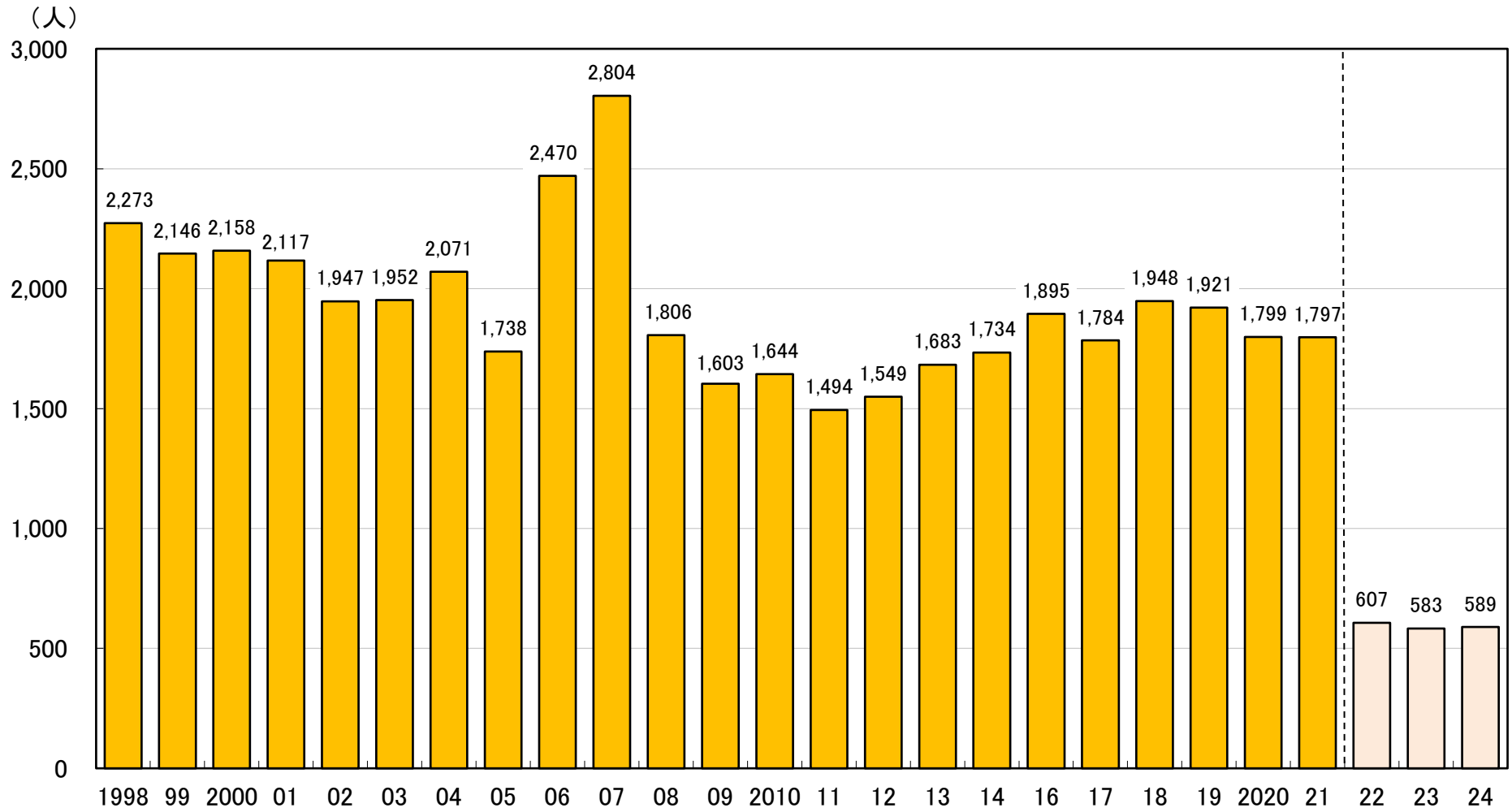
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）

1997年～2019年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

製造業の従業者数は、近年横ばいだったが、 2022年に大きく減少

製造業従業者数の推移（坂祝町）



出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）

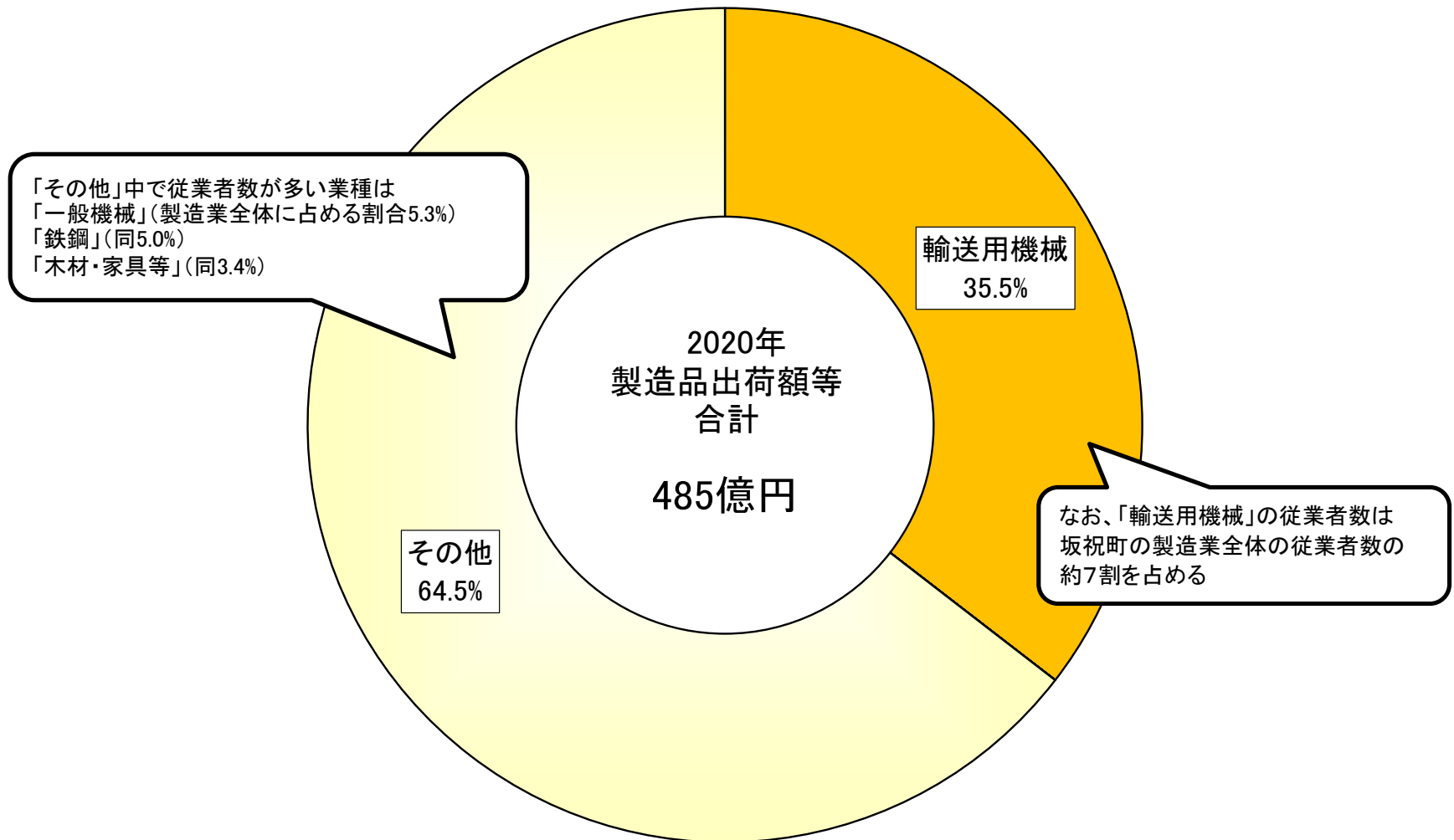
(年)

1998年～2020年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

輸送用機械が35.5%を占める

製造品出荷額等の業種構成＜ 坂祝町 ＞



出典:総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注1:「一般機械」=はん用機械器具+生産用機械器具+業務用機械器具

注2:「木材・家具等」=木材・木製品製造業(家具を除く)+家具・装備品製造業

注3:事業所数が少ないため製造品出荷額が秘匿となっている業種は「その他」に含む。

また、「一般機械」、「木材・家具等」は、内訳の業種に秘匿がある場合は、その業種の製造品出荷額は合算していない。(「その他」に含む)

注4:単位未満を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。